

試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。

# 令和6年度 第8回しらかわ検定

## 3級 問題冊子

(問題数50問 試験時間50分)

### 注意事項

- 1 試験中は受験票、筆記用具、時計（通信機能のないもの）以外は全てかばん等にしまってください。
- 2 携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。
- 3 問題冊子は、20ページあります。印刷が不鮮明であったり、ページが不足していたりする場合や、解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて係員にお知らせください。ただし、問題に関する質問にはお答えできません。
- 4 解答は、解答用紙の1から4の数字のうち、正答と思われる番号一つに丸を付けてください。

例えば【第1問】に対して「1」と解答する場合は、次の（例）のように解答用紙に丸を付けてください。

（例）

第1問	①	2	3	4
-----	---	---	---	---

- 5 解答用紙に正しく丸が付けられていない場合や二つ以上に丸が付いている場合は、不正解とします。
- 6 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめ退室していただきます。
- 7 不明な点がある場合や、体調不良やトイレでやむを得ず席を立つ場合は、手を挙げて係員にお知らせください。



【第1問】

しもうさづか こふん ちか ちか  
下総塚古墳のすぐ近くにある、豪族の居館跡が確認されている遺跡はどれ  
ですか。

- ① ふなだ なかみち いせき ② かりやどはいじあと  
舟田中道遺跡 借宿廃寺跡  
③ しらかわのせきあと ④ せきわ ぐかん が いせき  
白河関跡 関和久官衙遺跡

【第2問】

ごう こうせい むつ のくにさいだい きぼ しらかわぐん せいりつ  
17の郷から構成される陸奥国最大規模の「白河郡」が成立したのは、い  
つごろですか。

- ① せいき なか ② せいき なか  
3世紀中ごろ 7世紀中ごろ  
③ せいき なか ④ せいき なか  
9世紀中ごろ 12世紀中ごろ

【第3問】

しらかわ かんれん ゆうき け じんぶつ ただ  
白河に関連する結城家の人物について、正しいものはどれですか。

- ① ゆうき むねひろ みなものよりと おうしゅう ぜ じゅうぐん  
結城宗広は、源頼朝の奥州攻めに従軍した  
② ゆうき ちかとも しらかわゆうき け しょだいとうしゅ  
結城親朝は、白河結城家の初代当主である  
③ ゆうき よしちか こうけ てんのう け みたから しょうきん  
結城義親は「公家（天皇家）の御宝」と称賛された  
④ ゆうき ともみつ じとうしき しらかわのしょう しはい  
結城朝光は、地頭職として白河荘を支配した

【第4問】

丹羽長重にわながしげ おこなが行ったことについて、正しいただのはどれですか。

- ① 寛政かんせいの改革かいかく                      ② 三方領知さんぼうりょうち (地) 替ちがえ
- ③ 小峰城こみねじょう の大改修だいかいしゅう                      ④ 南湖なんこの築造ちくぞう

【第5問】

丹羽光重にわみつしげは、領地りょうちを白河しらかわから別の場所べつばしょに移うつされましたが、それはどこですか。

- ① 会津あいづ                      ② 相馬そうま                      ③ 棚倉たなぐら                      ④ 二本松にほんまつ

【第6問】

白河藩主しらかわはんしゅは7家21代けだいにわたりましたが、最後さいごの藩主はんしゅはだれですか。

- ① 阿部あべ 正静まさきよ (しず)                      ② 松平まつだいら 定永さだなが
- ③ 本多ほんだ 忠義ただよし                      ④ 蒲生がもう 氏郷うじさと

【第7問】

江戸時代に、82年間にわたり、最も長く白河を治めたのは何家ですか。

- ① 丹羽家                      ② 松平（久松）家  
③ 阿部家                      ④ 松平（奥平）家

【第8問】

「奥州の押さえ」として、小峰城はどんな役割を担っていましたか。

- ① 会津防衛                      ② 江戸防衛                      ③ 水戸防衛                      ④ 仙台防衛

【第9問】

文政6年（1823）に「三方領知（地）替」の対象となった忍藩は、現在の何県にありましたか。

- ① 三重県                      ② 神奈川県                      ③ 栃木県                      ④ 埼玉県

【第10問】

めいじ 22年(1876)4月の町村制施行により、表郷地域で成立した村

はどれですか。

- ① かねやまむら ② しのぶむら ③ おのだむら ④ ごかむら

【第11問】

しらかわちほうで、さいせいきには1万頭以上の売り買いがあり、「市」や「せり」で

とりひきされた動物は何ですか。

- ① うし ② うま ③ やぎ ④ ぶた

【第12問】

めいじじだい しらかわし てつどう まちが  
明治時代に白河に敷かれた鉄道について、間違っているのはどれですか。

- ① しらかわうえのやくじかんはんい  
白河から上野まで、約6時間半で行けるようになった
- ② くろいそこおりやまかんかいつう  
黒磯—郡山間が開通した
- ③ めいじ  
明治20年(1887)が開通した
- ④ じもとゆうりよくしゃこじんじぎょうと  
地元有力者の個人事業として、取り組まれた

【第13問】

だいに じ せ かいたいせんちゆう きんろうどういん しらかわ じょがくせい たすう ぎ せい こうしゅう  
第二次世界大戦中、勤労働員の白河の女学生が多数犠牲となった空襲は

どれですか。

- ① こおりやまくうしゅう 郡山空襲      ② しらかわくうしゅう 白河空襲  
③ やぶきくうしゅう 矢吹空襲      ④ せんだいくうしゅう 仙台空襲

【第14問】

しょうわ しょうわ がつ しらかわまち しらかわし ととき  
昭和24年（1949）4月に、白河町は白河市となりましたが、その時  
がっぺい むら  
合併した村はどこですか。

- ① やしろむら 社村      ② おおやむら 大屋村      ③ かまのこむら 釜子村      ④ おおぬまむら 大沼村

【第15問】

こみねじょうあと いしがき おお くず ひがし ひがしにほんだいいしんさい はっせい  
小峰城跡の石垣が大きく崩れる被害となった東日本大震災が発生したの

は何年ですか。

- ① へいせい ねん 平成19年（2007）      ② へいせい ねん 平成21年（2009）  
③ へいせい ねん 平成23年（2011）      ④ へいせい ねん 平成25年（2013）

【第16問】

多くの家臣団を抱えるための侍屋敷を作るため、小峰城の西側から北側に流れを変えられた川はどれですか。

- ① 阿武隈川      ② 隈戸川      ③ 矢武川      ④ 社川

【第17問】

松平定信の時代に「白河城御櫓絵図」は完成しましたが、それは何年ですか。

- ① 1508年      ② 1608年  
③ 1708年      ④ 1808年

【第18問】

高さ約14mの小峰城で最も大きな規模の櫓はどれですか。

- ① 月見櫓      ② 太鼓櫓      ③ 三重櫓      ④ 富士見櫓

【第19問】

小峰城の本丸御殿について、正しいのはどれですか。

- ① 建物の規模や外観について、詳細に書かれた絵図が残されている
- ② 使用人や女中の住居として使用された
- ③ 藩主とその家族以外は立ち入ることができない場所だった
- ④ 707畳とする資料もあるととても大きな建物だった

【第20問】

白河石について、正しいのはどれですか。

- ① 主に大信地域で産出されている
- ② 加工しづらく、小峰城の石垣には使われていない
- ③ 赤や黒など、カラフルな色が特徴である
- ④ 非常に珍しい石のため、売買が禁止されている

【第21問】

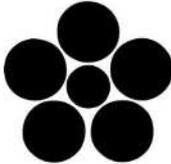
小峰城三之丸に位置し、敷地の広さは約14,000坪と考えられている。

松平定信が造った庭園はどれですか。

- ① 翠楽苑
- ② 三郭四園
- ③ 南湖
- ④ 浴恩園

【第22問】

れきだいしらかわはんしゅ かもん まつだいら ひさまつ け かもん  
 歴代白河藩主の家紋のうち、松平（久松）家の家紋はどれですか。

①	②	③	④
			

【第23問】

しらかわ じょうかまち とお ごちょう しょうこうぎょう さか しらかわはん  
 白河の城下町について、「通り五町」として、商工業が栄え、白河藩の  
 ちゅうしんち やくわり にな てんじんまち なかまち もとまち たまち ひと  
 中心地としての役割を担ったのは、天神町、中町、本町、田町とあと一つは  
 どこですか。

① よこまち 横町

② うままち 馬町

③ ねんぐまち 年貢町

④ さくらまち 桜町

【第24問】

白河の城下町について、正しいものはどれですか。

- ① 「天神町」 — 幕府や藩のお触れ書を掲示する「高札場」などが置かれ、城下の中心的な町であった
- ② 「八百屋町」 — 金物職人が多く住んでいたと言われている
- ③ 「愛宕町」 — かつては「鉄砲町」とされていた場所であった
- ④ 「田町」 — 会津・仙台方面からの入り口の町で、北側に城下の入口を示す大木戸が置かれていた

【第25問】

白河の城下町に残されている歴史的建造物に多く見られる特徴として、

まちが間違っているのはどれですか。

- ① 厄除けと装飾の役割がある鬼瓦が取り付けられている
- ② 蔵座敷の壁は、防火や湿度の調整に優れている土壁や漆喰塗りである
- ③ 本を伏せたような山形の形状の屋根である切妻平入りである
- ④ 西日を避けるために、蔵はすべて母屋の西側に建てられている

【第26問】

きゅうわきほんじんやなぎ やりょかんくらざしき 旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷について、正しいのはどれですか。

- ① あさひまち たてもの 旭町にある建物である
- ② ぼ しんせんそう まえ しょうしつ さいけん 戊辰戦争の前に焼失し、そのあと再建されなかった
- ③ めいじてんのう どうほく ほつかいどう じゅんこう きゅうけいじょ しゅくはくじょ 明治天皇が東北・北海道を巡幸したときに、休憩所・宿泊所として利用した
- ④ たてもの なか いど いま つか 建物の中につるべ井戸があり、今も使われている

【第27問】

つぎ 次の ( ) に当てはまるのは何ですか。

はば せま どうろ こうさ ほん どうろ いっぽう い とてき 幅の狭い道路や、交差する2本の道路の一方を意図的にずらして屈折させる ( ) と呼ばれる造りは、敵の侵攻を遅らせるための城下町特有の道路構造です。

- ① くし型
- ② 弓型
- ③ カギ型
- ④ 山型

【第28問】

に わ ながしげ まつだいらなのおり まつだいらもとちか はか ばしよ つうしやう なん い  
丹羽長重や松平直矩、松平基知などの墓がある場所は通称、何と言われ  
ていますか。

- ① ゆうげつざん 友月山      ② ふじや 藤屋      ③ しょうなんこ 小南湖      ④ はってんぐう 八天堂

【第29問】

しらかわ せいきやうかい せいどう せい が ぞう えが いばら きけんしゅっしん  
白河ハリストス正教会の聖堂のイコン（聖画像）を描いた茨城県出身の  
イコン画家は誰ですか。

- ① やました りん 山下 りん      ② やまもと や え 山本 やえ      ③ いちかわ ほうせい 市川 方静      ④ せきね しょうじ 関根 正二

【第30問】

ぶんしやう なか  
次の文章の中で（ ）に当てはまるのはどれですか。

しらかわぐち たたか ぼ しんせんそう はげ たたか おう う えつ  
「白河口の戦い」は、戊辰戦争のなかでも激しい戦いでしたが、奥羽越  
れつぱんどうめいぐん しんせい ふ ぐん あ せん し しゃ かず  
列藩同盟軍と新政府軍を合わせての戦死者の数は約（ ）人だった。

- ① 50      ② 500      ③ 700      ④ 1,000

【第31問】

まつだいらさだのぶ なんこ けしき よ ところ えら めいしょ  
松平定信が南湖に、景色の良い所を選んで名所をもうけましたが、それは  
なんかしよ  
何ヶ所ですか。

- ① 3                      ② 10                      ③ 17                      ④ 24

【第32問】

くばんちょう                      ちゃしつ                      たいしやう                      ねん  
もともとは九番町にあったと伝えられる茶室で、大正12年(1923)  
なんこじんじゃ                      きぞう                      いちく                      たてもん                      なん  
に南湖神社に寄贈、移築された建物は何か。

- ① きやうらくてい                      ② しょうふうていらげつあん  
共楽亭                      松風亭蘿月庵  
③ めいじきねんかん                      きゆうにししらかわぐんやくしよ                      ④ たいこやぐら  
明治記念館(旧西白河郡役所)                      太鼓櫓

【第33問】

なんこじんじゃ                      つく                      にほんざいかい                      じゆうちん                      だれ  
南湖神社を造るために尽力した、日本財界の重鎮は誰ですか。

- ① おおくま                      しげのぶ                      ② いとう                      ひろぶみ                      ③ しぶさわ                      えいいち                      ④ ふくざわ                      ゆきち  
大隈重信                      伊藤博文                      渋沢栄一                      福沢諭吉

【第34問】

まつだいらさだのぶ そふ えどぼくふ しょうぐん だれ  
松平定信の祖父にあたる江戸幕府の将軍は、誰ですか。

- ① とくがわ いえやす 徳川 家康      ② とくがわ いえみつ 徳川 家光      ③ とくがわ よしむね 徳川 吉宗      ④ とくがわ よしのぶ 徳川 慶喜

【第35問】

しらかわのせき ただ  
白河関について、正しいのはどれですか。

- ① こだい おうしゅう かんもん いち せいじてき ぐん じてき じゅうよう  
古代には奥州の関門として位置づけられ、政治的・軍事的に重要な  
やくわり は  
役割を果たしていた
- ② さかきばらただつぐ げんざい はたじゆく ち しらかわのせきあと だんてい こ  
榊原忠次により、現在の旗宿の地が白河関跡であると断定され、古  
かんせき ひ こんりゅう  
関蹟碑が建立された
- ③ せい き なか せつ ち い  
2世紀の中ごろには設置されていたと言われている
- ④ まつ お ば しょう そら しらかわのせき おとず はくつちよう さ おこな  
松尾芭蕉と曾良は、白河関を訪れて、発掘調査を行った

【第36問】

源 義家が、奥州に向かう際に、仮眠を取ったという伝説が残っている場

所はどこですか。

- ① 人忘れずの山      ② うたたねの森  
③ 二方の山      ④ 矢越の森

【第37問】

奥州街道の周辺について述べた文章で、正しいのはどれですか。

- ① 白坂皮籠地区の八幡神社のそばに、「(伝) 金売吉次兄弟の墓」がある  
② 石川街道との分岐点には「女石の追分」がある  
③ 小田川宿に「境の明神」がある  
④ 幕府道中奉行管轄の奥州街道の終点となっていたのは、白坂宿  
である

【第38問】

作家の中山義秀なかやまぎしゅうについて、間違っているまちがのはどれですか。

- ① 旧大信村きゅうたいしんむらう生まれである
- ② 「厚物咲」あつものざきで直木賞なおきしょうを受賞じゅしょうした
- ③ 三重県みえけんや千葉県ちばけんで英語えいごの教師きょうしを務めていた
- ④ 作家さつかとして偉大な功績いだいこうせきを伝えていくため、白河市内しらかわしに「中山義秀記念なかやまぎしゅうきねん文学館ぶんがくかん」が建てたられている

【第39問】

大信地区たいしんちくにある、市内最高峰しなさいこうほうの標高ひょうこう976mの山やまはどれですか。

- ① 関山せきさん
- ② 天狗山てんぐやま
- ③ 権太倉山ごんたくらやま
- ④ 鶴子山つるこやま

【第40問】

おもてごうちく たてほこやまさいし いせき ただ  
表郷地区にある建鉾山祭祀遺跡について、正しいのはどれですか。

- ① にほん いちばん きぼ おお さいし いせき  
日本で一番規模の大きい祭祀遺跡である
- ② ちょうじょう たてほこいし いわ いま  
頂上に建鉾石と言われる岩とほこらがあったが、今はない
- ③ まがたま つぼ いぶつ ほっけん  
勾玉や壺などの遺物は発見されていない
- ④ やまとたけるのみこと さんちょう ほこ た かみ でんせつ  
日本武尊が、山頂に鉾を建て神をまつたという伝説がある

【第41問】

つぎ ぶんしょう ( ) ない あ はん なまえ なん  
次の文章の( )内に当てはまる藩の名前は何ですか。

かんぼうがねん しらかわはん はんしゅこうたい ひがしちいきぜんそん ( )  
寛保元年(1741)の白河藩の藩主交替で、東地域全村は( )

はんりょう ぶんか ( ) はんじんや とうじかまのこ  
藩領となり、文化6年(1809)に( )藩の陣屋は、当時の釜子

うつ かまのこむら りょうち ちゅうしん さか  
に移され、釜子村は領地の中心となって栄えました。

- ① だて 伊達
- ② えちごたかだ 越後高田
- ③ あいづ 会津
- ④ たなぐら 棚倉

【第42問】

しらかわちようちん  
白河提灯まつりについて、正しいものはどれですか。

- ① 祭礼は3日間にわたって開催される
- ② 白河藩主榊原忠次が、鹿嶋神社に神輿を寄進したことが始まりとされている
- ③ 夜に提灯行列をするための準備時間のため、昼間はいつさいまつりは行われていない
- ④ 現在は、市内全域から希望する町内会が参加している

【第43問】

しらかわちようちん  
白河提灯まつりにおいて、祭礼執行の主体となり全体を取り仕切り、最後尾から提灯行列を警護し、神社神輿をおまもりする役割を担っている桜町は何と言いますか。

- ① 先達                      ② 元方                      ③ 宮本                      ④ 壮者

【第44問】

白河<sup>しらかわ</sup>だるま<sup>だるま</sup>市<sup>いち</sup>について、正しい<sup>ただ</sup>のはどれですか。

- ① 以前<sup>いぜん</sup>は、主<sup>おも</sup>に「市神祭<sup>いちがみさい</sup>」や「花市<sup>はないち</sup>」と呼<sup>よ</sup>ばれていた
- ② 全国<sup>ぜんこく</sup>各地<sup>かくち</sup>のだるま<sup>だるま</sup>が売<sup>う</sup>られる市<sup>いち</sup>である
- ③ 「どん<sup>ひ</sup>ど焼<sup>まつ</sup>き」という火祭<sup>てんじんまち</sup>りが天神町<sup>よこまち</sup>、横町<sup>だいくまち</sup>、大工町<sup>かしょ</sup>の3カ所<sup>おこな</sup>で行<sup>おこな</sup>わ  
れている
- ④ 戦前<sup>せんぜん</sup>までは、春<sup>はる</sup>と秋<sup>あき</sup>の2回<sup>かい</sup>行<sup>おこな</sup>われていた

【第45問】

白河<sup>しらかわ</sup>だるま<sup>だるま</sup>の意匠<sup>いしょう</sup>を考<sup>かんが</sup>え、下絵<sup>したえ</sup>を描<sup>えが</sup>いたと言<sup>い</sup>われるのは誰<sup>だれ</sup>ですか。

- ① 狩野<sup>かのう</sup> 探幽<sup>たんゆう</sup>                      ② 谷<sup>たに</sup> 文晁<sup>ぶんちよう</sup>
- ③ 丸山<sup>まるやま</sup> 応挙<sup>おうきよ</sup>                      ④ 大野<sup>おおの</sup> 文泉<sup>ぶんせん</sup>

【第46問】

かつて谷津田川<sup>やんたがわ</sup>沿<sup>ぞ</sup>いに数多<sup>かずおお</sup>くあ<sup>あ</sup>った、酒造業<sup>しゅぞうぎょう</sup>の精米<sup>せいまい</sup>に使<sup>つか</sup>われたものは何<sup>なん</sup>  
ですか。

- ① 水車<sup>すいしゃ</sup>                      ② 風車<sup>ふうしゃ</sup>                      ③ 井戸<sup>いど</sup>                      ④ 噴水<sup>ふんすい</sup>

【第47問】

白河の酒造業が栄えた理由について、間違っているものはどれですか。

- ① 那須連峰が蓄えた伏流水が、美味しい酒を造る下地となっていた
- ② 奥州街道のにぎわいととも、酒造業も栄えた
- ③ 城下町には物資の流通があるため、原料となる米が集まりやすい場所だった
- ④ よそから酒杜氏を招かなかつたため、白河独自の酒が造られていた

【第48問】

不運な運命をたどった僧・安珍の冥福を祈り、歌と踊りで供養する「安珍歌

念仏踊」が受け継がれている地区は、どこですか。

- ① 十日市      ② 根田      ③ 釜子      ④ 白坂

【第49問】

関<sup>せき</sup>辺<sup>べ</sup>のさんじもさ踊<sup>おどり</sup>について、間<sup>ま</sup>違<sup>ちが</sup>っているのはどれですか。

- ① 八幡<sup>はちまん</sup>神社<sup>じんじゃ</sup>の境内<sup>けいだい</sup>で行<sup>おこな</sup>われる
- ② 天道<sup>てんどう</sup> (太陽<sup>たいよう</sup>) の正常<sup>せいじょう</sup>な運行<sup>うんこう</sup>と害虫<sup>がいちゅう</sup>の防除<sup>ぼうじょ</sup>を念<sup>ねん</sup>じて五穀<sup>ごこく</sup>豊穰<sup>ほうじょう</sup>を祈<sup>き</sup>念<sup>ねん</sup>する行事<sup>ぎょうじ</sup>である
- ③ 「さんじもさ」とは、午後<sup>ごご</sup>三時<sup>さんじ</sup>に始<sup>はじ</sup>まることから、その名<sup>な</sup>が付<sup>つ</sup>けられた
- ④ テンポの速<sup>はや</sup>い「さんじもさ踊<sup>おどり</sup>り」とゆるやかな「念仏<sup>ねんぶつ</sup>踊<sup>おど</sup>り (音頭<sup>おんど</sup>踊<sup>おど</sup>り)」がある

【第50問】

次<sup>つぎ</sup>の文章<sup>ぶんしょう</sup>の ( ) 内<sup>ない</sup>に当<sup>あ</sup>てはまるものは何<sup>なん</sup>ですか。

表<sup>おもて</sup>郷<sup>ごう</sup>河<sup>か</sup>東<sup>とう</sup>田<sup>だ</sup>地区<sup>ちく</sup>で行<sup>おこな</sup>われている河<sup>か</sup>東<sup>とう</sup>田<sup>だ</sup>牛<sup>ご</sup>頭<sup>ず</sup>天<sup>てん</sup>王<sup>のう</sup>祭<sup>さい</sup>は、祭<sup>さい</sup>壇<sup>だん</sup>に ( )

を供<sup>そな</sup>えるところから ( ) 天<sup>てん</sup>王<sup>のう</sup>とも言<sup>い</sup>われている。

- ① もち
- ② あずき
- ③ ナス
- ④ キュウリ

